

試験項目	試験機関	試験結果	試験内容
バクテリア飛沫捕集（ろ過）効率（BFE）試験	Nelson Labs.	99.8 %	マスクなどのフィルターが、空気中の細菌（バクテリア）を含む飛沫を捕集（ろ過）する性能を試験します。 細菌懸濁液を圧縮空気によりエアロゾル（粒子径3.0ミクロン）化し、一定の流量でフィルターを通過させます。このときフィルターに捕集されずに出てきたエアロゾルを寒天培地入りのシャーレに受け培養します。これを、フィルターなしでシャーレに受けたエアロゾルの培養結果と比較することで、捕集（ろ過）効率を計算します。（試験に使用する細菌は、黄色ブドウ球菌です。）
微粒子捕集効率（PFE）試験	Nelson Labs.	99.7 %	マスクなどのフィルターが、微小な粒子を捕集（ろ過）する性能を試験します。 試験装置内に、試験粒子（粒径0.1ミクロン）を連続供給し一定流量で吸引しながら、フィルター前後（上流側、下流側）の粒子数を計測し、捕集効率を測定します。
ウイルス飛沫捕集（ろ過）効率（VFE）試験	一般財団法人 カケンテストセンター	99.8 %	マスクなどのフィルターが、空気中のウイルスを含む飛沫を捕集（ろ過）する性能を試験します。 ウイルス懸濁液を圧縮空気によりエアロゾル（粒子径3.0ミクロン）化し、一定の流量でフィルターを通過させます。このときフィルターに捕集されずに出てきたエアロゾルを寒天培地入りのシャーレに受け培養します。これを、フィルターなしでシャーレに受けたエアロゾルの培養結果と比較することで、捕集（ろ過）効率を計算します。（試験に使用するウイルスは人間に感染しない種類のウイルスです。）
花粉粒子捕集（ろ過）効率試験	一般財団法人 カケンテストセンター	99.9 %	マスク等のフィルターが、花粉代替粒子を物理的に捕集（ろ過）する性能を試験します。 試験粒子（スギ花粉と同等の粒径約30ミクロン）を一定流量でフィルター片面上に均一に落下させ、試験粒子がフィルターを通過した量を計測し、捕集効率を算出します。
アンモニアガス除去性能評価試験	一般財団法人 カケンテストセンター	99 % 以上	フィルターなどの繊維が、周りの臭気成分の濃度を低減する性能を試験します。 容器に試料と測定対象ガスを入れ、一定時間経過後にガス濃度を測定し、減少率を算出します。